

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

秋田県 北秋田市

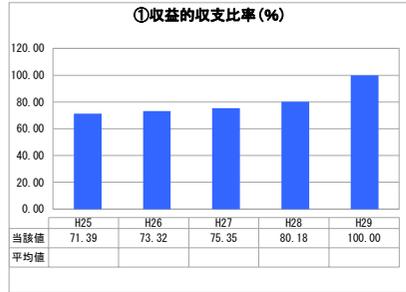
| 業務名       | 業種名         | 事業名        | 類似団体区分 | 管理者の情報                         |
|-----------|-------------|------------|--------|--------------------------------|
| 法非適用      | 下水道事業       | 特定地域生活排水処理 | K2     | 非設置                            |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%)     | 有収率(%) | 1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |
| -         | 該当数値なし      | 1.69       | 100.00 | 2,915                          |

| 人口(人)      | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )      |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 32,837     | 1,152.76                 | 28.49                         |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km <sup>2</sup> ) | 処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 550        | 0.36                     | 1,527.78                      |

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



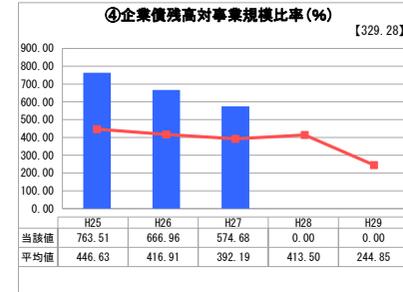
「単年度の収支」



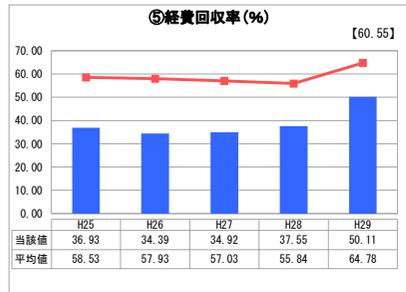
「累積欠損」



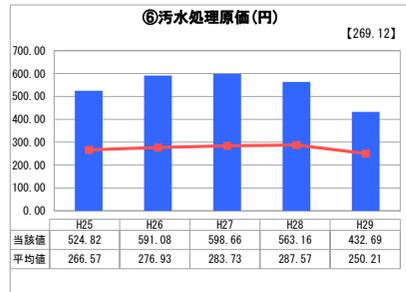
「支払能力」



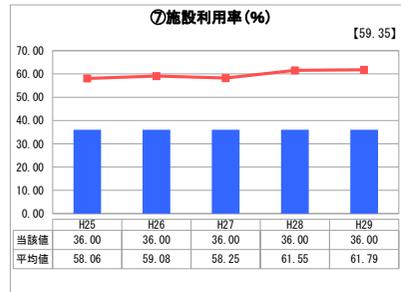
「債務残高」



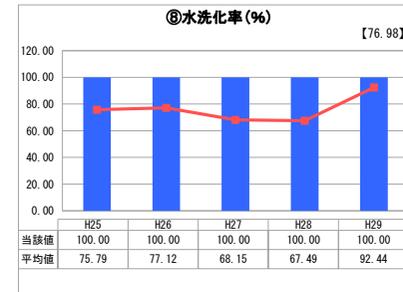
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

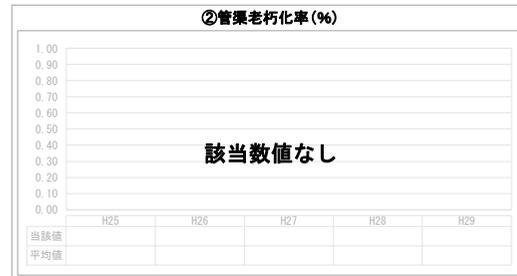


「使用料対象の捕捉」

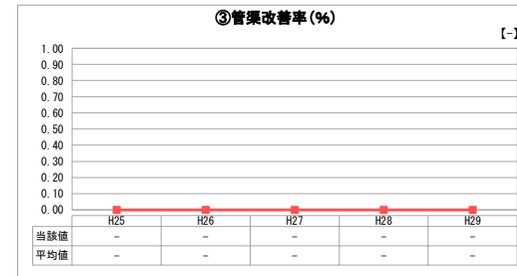
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、収益（主に料金収入、一般会計繰入金）に対して費用（主に維持管理費、支払利息、地方債償還金）の比率を表します。100%と収支均衡しているが、料金収入だけでは賸えず一般会計繰入金を充当しています。

経費回収率は、料金収入に対する回収すべき経費の割合を表します。類似団体よりも低く100%未満であるため、料金収入が少なく一般会計繰入金に依存しているが表れています。

汚水処理原価は、1㎡の汚水処理に要した費用（維持管理費・資本費）を表します。類似団体よりも高いため維持管理費の削減が課題であります。

施設利用率は、処理可能な能力に対する実際の処理量を表します。類似団体より低いため、世帯人数に対し設置浄化槽が大きいことが表れております。

水洗化比率は、休止している浄化槽が無いことから100%であります。

### 2. 老朽化の状況について

平成14年度整備開始で15年しか経過していないことから、浄化槽の更新事業を開始していない。

## 全体総括

各指数を類似団体と比較しても乖離が目立ち、今後改善に向けた取組みが必要であります。収益については、一般会計繰入金に依存しているため、料金収入の拡大を図るとともに、より一層の収納率向上を図ります。また、浄化槽維持管理費を料金収入で賸えるよう、料金水準を見直し、料金単価の改定を行い適正な浄化槽使用料とします。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。